

川のはじまりを見に行こう！
～山のつどい～で沢のぼり



Q.どこにあるの？

安城市内の家庭を中心に加入しています。
普段の活動は安城市内が多いです。

Q.対象は何年生なの？

小学1年～中学3年までが団員、高学年は「大きい子会」というみんなのまとめ役の会を開いています。
高校生以上は「指導員」として関わっています。

Q.何をするとところなの？

日ごろの団会（例会）の中では体を使って思い切り遊びます（集団遊び）

その中で子どもたちが遊びや行事を考え、実行しています。
段ボール迷路や工作のピタゴラスイッチにペットボトルロケット、たこ焼きやクレープを焼いたり、海でBBQなどもしました。

愛知センターの行事として夏の「山のつどい」冬（春）の「雪まつり」などがあります。



冬の雪まつり

ゆうき少年団

いつでも 仲間募集中!

子どもたちの自主的な取り組みを通じて「共に成長していく」ことを目的とした団体です。

【子育て】サークルではなく、【子どもたち】【指導員】【父母会】とそれぞれが集団をつくって、お互いが成長していけるよう活動しています。

愛知少年少女センターに加盟している「少年団」です



春の 青空学校

Q.月に何回くらいあつまるの？

団会は月に一度ですが、行事の前などは準備のために集まる事が多いです。

Q.会費は？会費以外の親の負担はあるの？

団費として、一家庭（兄弟何人でも）月に1000円です。うち700円がセンター会費です。（集金は半年毎）
会員はセンター行事に割引価格で参加する事ができます。

父母会は団会や行事に合わせて開く事が多いです。
親の「役員」が順番として回ってくる事はありません。
大人の支援なしにはできない活動です。お互いに「やれる事はやる」「協力できるときは惜しまない」という姿勢で取りくんでいます。



司会は俺たちにまかせろ!

Q.スポーツ少年団や子ども会・ボーイスカウトとはどう違うの？

特定のスポーツに取りくんでいる訳ではありません。
教育カリキュラムや制服はありません。
行政や町内会の支援などは受けておらず、自主的な運営です。

愛知少年少女センターに加盟しています。
安城市ボランティアセンターに登録しています。
安城市児童健全育成事業の助成基金をうけています
スポーツ保険・ボランティア保険に加入しています
行事によっては、各財団や教育委員会などの後援を得ることもあります。





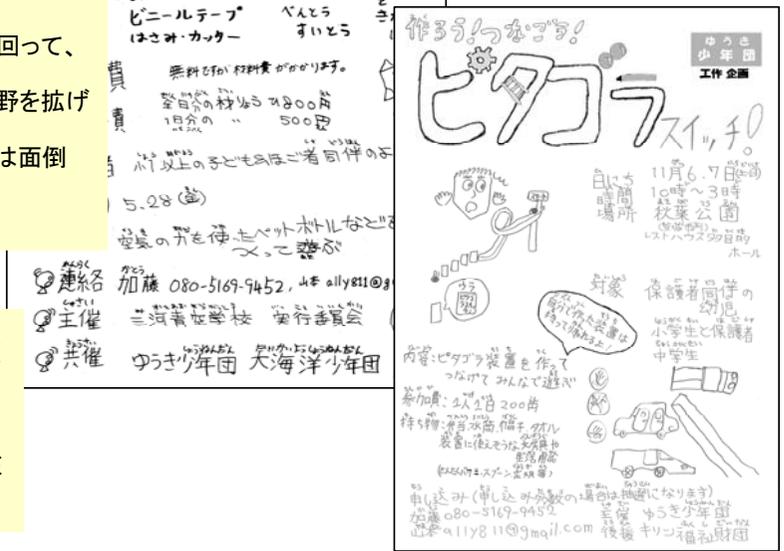
「みんなで決めて、みんなで実行、みんなで振り返る」というプロセスを大事にしています。人間は一人では生きていけません。だから人と関わりながら色んな決断をし役割を分担しながら働き生きていきます。自分の意見を通す方法や人の意見を聞くこと、時にはそれを引っ込めるタイミング…自分たちで行事を運営してゆかなく身につきものもあります。大人からみれば「ダラダラ」な会議も、「シャンとしてない」司会進行も自分たちで進める事が大事です。「結果よりプロセスが重視」していくのは見ていて「イライラ」することもあります、重要な事です。

【父母会】
子どもたち・指導員の成長も見守りつつバックアップします。干渉しすぎず、自主的に活動できるよう、心がけています。おかずを持ち寄って食べながら父母会を開き、子どもたちの成長に一喜一憂したり、愚痴をこぼしあったりもします。

【子どもたち】
異年齢・他学区の集団の中で活動することは、とても大切な事です。学校では引っ込みがちな子ども少年団ではリーダーだったり、元気に走り回って、時には威張っていたりします。他の学校のルールや遊びの文化？の違いを知ること子どもたちの視野を広げてくれます。色んな事を知ってるできる、お兄さんお姉さんは憧れの存在です。時には面倒な、年少の子も一緒に遊ぶ中で、配慮することを覚えていきます。

青空学校 ペットボトルロケット
日時 6月5・6日 10:00~15:00
場所 安城市民交流センター
ペットボトル500ml(たくさん用)
食品トイ 2~3まい
タオル
ビニールテープ ペン
はさみ カッター
無料材料費がのりです。
参加費 500円
5.28(金)
安城の空を飛べペットボトルロケット
空気の力を借りて飛ばそう
連絡 加藤 080-5169-9452, 4F ally811@gmail.com
主催 三河管区学校 実行委員会
共催 ゆきぎ少年団 大海洋少年団

行事のチラシも子どもたちの手作り☆



【指導員】
3人もの子どもをおんぶしたまま走り回ったり、色んな遊びを教えられる頼りになるお兄さん・お姉さん。焚き火の起こし方から楽しい遊び場まで、色んな事を教えてくれます。思春期の中学生にとって、話を聞いてくれる「親以外の大人」の存在はとても大切です。指導員たちも活動の中で大きく成長していきます。



gang age (ギャング・エイジ)
徒党時代と訳されることもある。小学校後半くらいになると仲間意識が強まり、同性・同年輩の閉鎖的集団をつくり、メンバーの間でだけ通用する合言葉、暗号、秘密の集場所、特定の遊びなどを共有し、メンバーがそれぞれリーダー、連絡係などの役割を分担するという新奇な社会的活動がみられるようになる。この時期をギャング・エイジとよぶ。ギャング・エイジは、それまでの親や教師への一方的依存関係から脱却して、より対等で相互的な人間関係や自発的な組織構成と幼い年の自治組織などを求める発達上かなり必然的な要求からおこると考えられている。ときとして、集団による権威への反抗という形に逸脱することもあるため、親や教師からはギャング・エイジの仲間集団は反逆や非行のしるしのようにみえるが、本質的には子供はこれによって相互性、責任感、役割分担、自他の個性、支配—服従関係などを学ぶと考えられる。『トム・ソーヤの冒険』『少年探偵団』などはギャング・エイジ物語の典型であるが、20世紀後半以降の日本では地域社会の衰退、遊び場の喪失、受験教育による余暇時間拘束などのためこの発達上肝要な契機をなす現象が、とくに都市部ではほぼ失われてしまった。これは、多くの子供問題を引き起こす一つの遠因として注目している。
[執筆者: 藤永 保]



麒麟財団より基金の授与式
様々な助成金や公的な支援を活用しています。

【連絡先】
代表 加藤
080-5169-9452
山本
0566-72-4044
ally811@gmail.com